

インターネットを 使いこなそう

1

IT化は自社に必要？



略歴

- ITコーディネータ
- 大分IT経営推進センター会員
- 大分県中小企業支援アドバイザー(大分県産業創造機構登録)
- 大分上野丘高等学校 広島大学経済学部 卒業
- システム開発会社(東京・大分市)を経て、中小企業のIT経営と業務プロセスの構築・運用・改善支援
- 2009~2010年度、大分県商工労働部情報政策課にて「大分県ITお助け隊」の一員として中小企業のIT化支援

大分シーイーシー株式会社 大隈 義弘氏

■ 何のためのIT化？

IT化をすると何か良い事があるのでしょうか。それは何を期待し、IT化がどれだけその期待に応えたかによります。企業においてその判断基準は現状と描いた将来像です。

このためIT化の前にまずは企業の将来像を描く事、現状を把握する事、そして将来像に近づくための改善点の洗い出しが必要になります。

次に改善点に優先順位を付け、解決方法を検討しますがIT化は選択肢の1つに過ぎません。経営全体を見渡し、IT化をしない、あるいはある段階までIT化を待つ等の選択肢も検討する必要があります。

■ ITは道具

IT企業以外ではITは直接利益を産みません。例えば物販のネットショップの場合、ITは欠かせませんが利益を生むのは商材を販売する事業です。ITが重要な要素でも過剰投資は利益の出ない事業体質となります。

社内の業務システムの場合も同様です。ITは導入後いつまでも使える訳ではなく時間と共に変化する事業や環境、技術に対応するために何年か毎に更新の必要があり、過剰なIT投資は回収できないまま更新を迫られます。経営計画に基づいたIT投資でなければ適切なのかも判断できません。

また他社と同じITを導入しても自社にも良いかどうかはわかりません。同業種であっても取り巻く社内・社外の環境や経営計画が全く同じではないからです。

このため自社の事業を把握した上で身の丈にあったIT活用を検討していく必要があります。ITはあくまでも事業の為の道具として適切に使うという認識が重要です。

■ IT化のメリット

そうは言ってもITは便利な道具です。同じ処理の繰り返しは人間には不可能なスピードで正確に行えます。必要な情報の見つけやすさは紙媒体だけの時代とは比べ物になりません。インターネットは屋外でも快適になり、タブレット、スマートフォン等の機器も普及し、場所や時間の制約を受けずにコミュニケーションが可能になり、インターネットを通じて提供されるサービスも多岐にわたって豊富に揃ってきました。

■ IT化のリスク

ITが便利な反面、IT化のリスクも増大しています。インターネットでの外部接続によるセキュリティリスク、デジタル化されたデータの損失リスク、停電や通信遮断などの事業中断リスク、業務情報や個人情報への漏えいリスク等様々なリスクがあります。またインターネット上への情報流出は削除が不可能です。いわゆる「炎上」リスクにも対応する必要があります。

これらリスク対策はIT化において避けられず、人的な教育も含めて継続的に行う必要があります。

■ IT化するためには

自社のIT化はIT企業がしてくれる訳ではありません。技術的な部分はIT企業に依頼しても、その内容は自社の指示監督下で行う必要があります。なぜならIT企業はあなたの会社の経営責任を負う立場にないからです。

IT化するためには、まず経営計画に従ってIT化の範囲や内容を決めます。この際、中小企業支援機関など外部の協力を得る事も適切なIT化には有効です。次に関連する情報収集をして選択肢を確認します。コスト面も含めて複数選択肢の比較検討が適切なIT化には重要です。またIT化に向けた体制を作り、社内の管理・運用者と利用者を決め、業務の流れも必ず見直す必要があります。

Facebook等ソーシャルメディアの利用にはガイドラインやポリシーを作って社員教育が必要です。

IT化の方法も変わってきています。機器も入手しやすくなり、安価なサービスも多数提供され、時間をかけて独自に設計・開発するIT化から既存サービスを利用するIT化が適用できる場面が増えていきます。既存サービスの利用で短期導入でき、安価なサービスであれば試行も容易になります。

■ IT化の過程は会社の財産になる

IT化への取り組みは結果的にIT化しなくても経営や業務を見直す絶好のチャンスです。この過程での検討内容や収集した情報、作成書類はすべて会社の財産です。

IT環境の利便性が加速する中、適切なITを選択して賢く使っていき事がより重要になっています。